

# くさふね ギャラリーショップ草舟

2022年6月13日10時 オープンお披露目会を開催いたします

## アート・クラフトのギャラリーと陶芸教室

国の登録有形文化財に指定されている「旧丸森郵便局」でアート・クラフトギャラリーと陶芸教室を開きます。

ギャラリーでは各月ごとに違うテーマ、アート・クラフト作家の作品展示、教室では近隣住民用の定期陶芸教室と観光客向けの陶芸体験教室を開催し、生活の中にて手仕事の素晴らしさを知る機会を提供します。また、自身の陶芸作家としての活動においては、丸森の土や植物を材料とした作品作りに取り組んで行きたいと思えます。



### 登録有形文化財「旧丸森郵便局」

旧丸森郵便局は、昭和10年に建築された木造2階建ての建物です。

外観に特徴があり、屋根は鉄板葺きの片流れ、外壁は2階が人造石洗い出し仕上げ、1階がスクラッチタイル貼りで、腰が花崗岩貼りになっています。玄関には壁付柱を建て、2階上部に装飾された縦長窓があります。

町の歴史的景観に寄与しているものとして、2009年4月28日に国の登録有形文化財に登録されました。

【「ギャラリーショップ草舟」オープンお披露目会】  
2022年6月13日（月）10:00から

ギャラリーショップ草舟  
宮城県伊具郡丸森町字町西 30-1（旧丸森郵便局）

【出席者】丸森町地域おこし協力隊 平野 照子  
丸森町長・保科 郷雄、丸森町教育長・佐藤 純子  
株式会社 MAKOTOWILL 鈴木 省吾



猫モチーフの陶芸作品

猫神様を祀る地で猫作品を展示販売いたします。



クラフト作家作品

月毎に全国からセレクトされた作家作品が並びます。



陶芸教室

大人から子供まで楽しめる陶芸教室を開きます。

## 地域おこし協力隊として戻ること

### 丸森へのおもい

私は丸森町の出身です。30年ほど新潟で医療の仕事と陶芸の仕事をしてきました。東日本大震災、令和元年東日本台風による被災、コロナ禍…困難が続く中にある故郷を外から見てきました。

しかし、大きな困難に負けず前向きにまちづくりに関わる友人達の活気、地域おこし協力隊として活動している仲間の明るさに背中を押されるように近年「私も戻ってやってみよう」という気持ちになっていました。

空き店舗となっていた登録有形文化財となっている「旧丸森郵便局」を見た時、なんて素敵な建物！と感動しました。借り受けて使っていただくことになり、ここでギャラリーや教室が出来る事は思ってもみない幸運です。

また、オブジェや食器などの陶芸作品を作る中で猫は私の代表的なモチーフのひとつです。保護猫を助けるチャリティ展示などを続けてきた私にとっては丸森の猫神様に導かれたような気がしています。

懐かしくも、私の知らない事ばかりのここ丸森町で新しい風を吹かせられるように精進していきたいと思えます。



## 丸森町と猫神様

丸森町は古くから養蚕が盛んな地域で、大敵であるネズミから蚕を守るため、猫を大切にし、猫神として祀ってきました。猫の形を浮き彫りにした石碑や石造、文字が刻まれたものなどが町内で数多く発見され、この数は日本一と言われています。

ひらのしょうこ

### 平野照子 プロフィール

1972年宮城県丸森町生まれ。1991年新潟へ進学。その後作業療法士として医療機関に勤務。1997年より陶芸家坂爪勝幸氏に師事。2009年独立し築窯。2011年週末だけ開くギャラリーショップ草舟をオープン。2022年地域おこし協力隊として丸森町に戻りギャラリー、陶芸教室を開く。全国のクラフトイベント参加の他、個展中心に作品発表を続けている。



#### 【オープンお披露目会のお問い合わせ】

丸森町商工観光課商工班

(電話) 0224-87-7620

(メール) [shokou@town.marumori.miyagi.jp](mailto:shokou@town.marumori.miyagi.jp)

#### 【ギャラリーショップ草舟に関するお問い合わせ】

ギャラリーショップ草舟 くさふね 平野 ひらの 照子 しょうこ

(電話) 0224-51-8057

(メール) [kusafune@iplus.jp](mailto:kusafune@iplus.jp)